

『マコはハルモニア・ムンディにのって踊る』

(6) あなたの心にそっと触れさせてください

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ

(旧下関労働教育センター イエズス会神父)



瀬川神父に急用ができてしまい、フィリピンのミンダナオで行われる集まりにマコが代わりに行くことになった。旅立つ前の晩に瀬川神父が北海道に行った時の体験を話してくれた。

「マコに前に言ったことがあるけど、僕のエコロジー活動の指標にはトマス・ベリー神父さんっていう人がいるんだよね。多分、その神父さんの思想はフランシスコ教皇の『ラウダート・シ』にも影響を与えているんじゃないかな。彼は、先住民の知恵から学ぶことが大切だと言っているんだよね。それを心に刻みながら、今年の春に札幌に行ったんだけど、旭ヶ丘という札幌の街が見下ろせて、その向こうには雪をかぶった壮大な山脈が連なっているのが見える場所で、案内してくれた方がアイヌの人たちの言葉を教えてくれたんだよね。“イラン・カラプテ”という挨拶の言葉で、それを字義通りに訳せば“あなたの心に触れさせてください”なんだって。なんだか素敵だよな。ああ、大切なものを私たちは、この人たちから学ばなければと思ったんだよね。ミンダナオでも、マコもいろんなこと学んでくるんだろうな。」

ミンダナオ島のブキドゥナンという地域の山奥で行われる会議。瀬川神父と同じ修道会のアイルランド人のペドロ神父さんがこの地域の先住民と共に暮らし、子どもたちのための教育施設を作り、エコロジーセンターでは人々にエコロジーワークショップを提供している。今回の会議は、ペドロ神父さんの活動を学びながら行われた。この神父さんは、バイオーム（生物群系）の専門家でもある。バイオームとは植物、動物、土壌生物の類型を束ねる大分類のことで、つまるところ、この地域でどんな植物を植え、どんな森をつくれば生物多様性を増やす健康な生態系を作ることができるのかということはこの神父さんは熟知しているのだ。ジェysonという先住民の青年が森の中を案内してくれ、歩きながら、ペドロ神父がこの森について、どんな木を育てているのかについて説明してくれた。英語なので、マコは全てのことを理解したわけではないけれど、この森の中に、すでに神秘的で壮大ないのちを育んでいくシステムがあることに感動し、心も体も癒されていくように感じたのだった。



ペドロ神父が、黙想の前に祈りの材料としてシノドスの一つの文章を紹介してくれた。「シノダリティとインテグラル・エコロジーは共に手を取りながら歩いていくのです」という箇所だ。シノダリティは、全ての人々と共に歩いていくこと。今までマコが意識しなかった先住民の人々のことを今、マコは思った。「あなたの心にそっと触れさせてください」という挨拶が関係性を築いていくアイヌの人々。寡黙だけれど優しい眼差しで森を案内してくれたジェyson。彼らの知恵から学ぶことがこれからきっとたくさんあるのだ。そして、それは地球の癒しとも繋がっている。この森の中で過ごす時間はまるで森という一つの大きな命がマコの心にそっと触れてくれたかのような時間だった。自分自身が新しい皮袋となり、新しい息吹を入れていくように変容されていく思いがした。シノダリティとインテグラルエコロジーという今教会に流れ込んでくる川から水を汲みながら、この世界をその眼差しで見つめていこう。そのようにマコは心に刻んだのだった。

『エコロジカルな回心のための霊的な旅路』中井淳 sj 訳（教友社：2000 円＋税）出版されました！
平和の使徒推進本部でも取り扱っています。待降節の個人黙想のテキストにいかがでしょうか。

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口：広島教区人権擁護デスク★

受付時間 木曜日（祝日を除く）9:00～16:00 電話番号 082-555-1127

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019 E-Mail info@social-desk.net